

報道関係各位

SC販売統計調査報告2016年10月 既存SC前年同月比 :0.9%
イベントやシネマの好調が売上につながり3ヶ月ぶりにプラス

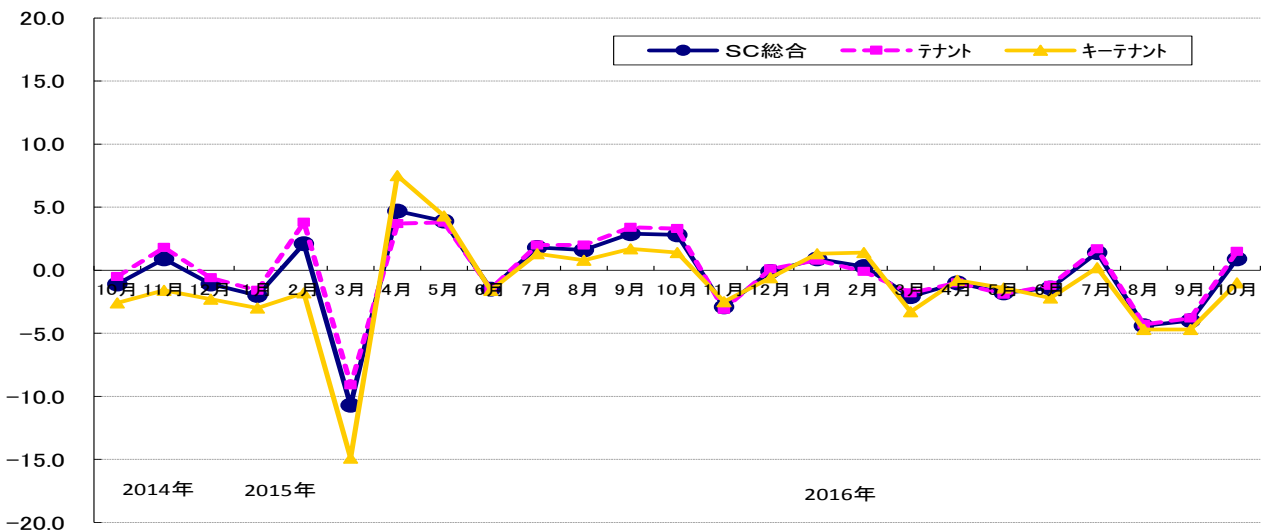
<全体概況>

- 10月度の既存SC売上高は、総合で前年同月比0.9%(前月▲4.0%)となり、7月度以来3ヶ月ぶりにプラスとなった。販促イベントやシネマの好調に加えて、昨年と比べて日曜日が1日多かったことや下旬からの気温低下に伴う冬物衣料の販売回復がプラスに寄与した。
- 立地別(表-1)では、総合では中心地域が0.8%(前月▲3.6%)、周辺地域が1.0%(前月▲4.2%)となり両方で改善がみられた。キーテナントが全ての地域でマイナスであったが、テナントは全ての地域でプラスとなり総合を押し上げた。総合で唯一マイナスとなった中心地域/中都市(▲0.6%)ではキーテナントに百貨店を持つ地方SCの売上不振が目立った。
- 地域別(表-2)では、全ての地域でプラスとなったものの、中部地域以西では四国を除き5地域で前年比0.1%~0.4%とプラス幅は小幅であった。
- 都市規模別(表-3)では、政令指定都市の総合が1.3%(前月▲3.0%)、その他の地域の総合が0.7%(前月▲4.8%)となり両者ともに前年を上回った。テナントとキーテナントともにマイナスとなった名古屋と福岡市は周辺地域の売上げが不調だった。
- 好調業種として、テナントは飲食とサービス、キーテナントは生鮮食品を挙げたSCが多かった。一方、婦人衣料は今月も不振との回答が多く見られたものの前月よりは減少した。特に、下旬から気温が低下したことに伴い、冬物衣料の販売が伸びたとの声もきかれた。

<トピックス>

10月度は7月度以来3ヶ月ぶりにプラスとなった。好調要因に販促イベントの効果を挙げるSCが多くみられた。販促イベントは例年実施しているが、今年度は特にハロウィンイベントや販促セール実施時期と気温低下のタイミングが重なったことが衣料品の購入に繋がったとの声が聞かれた。

既存SC売上高伸長率推移



以上
この件に関するお問合わせは 情報企画部:金田・今井・原田
TEL:03-5615-8524

※お手数をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りいたしますようお願い申し上げます。掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

広報担当：原田・大内・市川・浅田
Tel.03-5615-8524/Fax 03-5615-8539
Mail.pr@jcsc.or.jp